

2016 年度青島日本人会 総会

議 案 書

2016 年 4 月 16 日(土)
16 時～17 時 30 分
於: 海尔洲际酒店

第 1 号議案 2015 年度事業活動報告

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 会計報告

第 3 号議案 会計監査報告

第 4 号議案 2016 年度理事及び監事選任

第 5 号議案 2016 年度事業活動計画

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 収支予算案

以上

第1号議案

(1)2015年度活動報告（全般）

青島日本人会会長
廣田 至夫

1. はじめに

会員の皆様には常日頃から青島日本人会の運営・活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。会員の皆様におかれましては、ご多忙を極める毎日であろうとお察ししますが、そのような環境下で、本日はわざわざ本総会にご出席いただき誠にありがとうございます。

さて、日中両国にとって2015年度は関係改善ムードの高まりを見せた1年でした。4月早々にインドネシアで日中首脳会談があり、その後5月には約3000名の訪中団が北京を訪問。8月の安倍首相による戦後70周年談話や、9月の抗日戦争勝利70周年式典など微妙な節目もありながら、大きな波風が立つこともなく、両国間の交流は活発化を見せています。この青島にも日本の政財界を代表する要人が何組もお見えになり、両国間の関係が徐々に上向いていることを実感することができました。

また、昨年日本を訪れた中国人は前年の2倍である約500万人に達し、「爆買い」という言葉が流行語大賞を受賞するなど、両国における民間交流の面においても、従来とはまったく別の次元に入りつつあります。

しかし、一方で中国経済は転換期を迎えつつあり、これまでの勢いに翳りが見え始めています。資源価格の下落など、日本はもちろん世界経済にも大きな影響を与えており、足元を見れば、ここ青島の日系企業を取り巻く環境も、ますます難しくなりつつあると認識しています。

2. 青島日本人会の活動について

かねてより青島日本人会としては、会員相互の交流を通じて、明るく元気で活発な日本社会を作っていく、お互いに助け合いより大きな力が発揮できるコミュニティーを育てていくことが、その使命であると考えています。その理念に則り、昨年度も多岐にわたる活動を実施してきました。

200名を超える会員の方々にご参加いただき、熱のこもった競技が繰り広げられた青島日本人会運動会の開催、青島市事務局や外商投資企業協会との交流、青島国際商協会連盟への参画、青島ジャパンデイ2015の開催、そして400名以上の来場があり、大盛況となった日本人会納涼祭りの開催、地域貢献活動としての海岸清掃活動、そして新年会と、どの活動においても会員の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、それなくしての成功はあり得ないものばかりでした。

また、青島日本人学校の運営状況については、一時悩まされた生徒数の減少傾向が落

ち着きつつあり、財政状況も健全化が見えてまいりました。会員の皆様からは様々なご厚意、ご支援をいただき、改めて厚く御礼申し上げます。

一方、2013年度から取り組んできた携帯電話を活用した安全連絡網については、4月に訓練を実施したものの、中国特有の通信事情により十分に活用できないことが判明しました。加えて各種メンテナンスや運用体制維持の難しさから、この取り組みについては断念せざるを得ませんでした。緊急事態発生時の対応については、在青島日本国総領事館との情報交換をより密接にし、その活動に積極的に協力することで日本人会としての責務を果たしていくこととします。

商工会・各部会活動・生活文化会・同好会・婦人会・日本人学校運営状況等、個別の活動の詳細につきましては、これより各担当理事の方よりご報告させていただきますが、これらの個々の活動のすべてにわたって、会員各位のご支援・ご協力に対し重ねて御礼申し上げますとともに、日本人会活動への更なるご支援をお願い申し上げ、私のご報告とさせていただきます。

以上

(2) 商工会 活動報告

商工会会長 奥 憲明
副会長 井上 聡、正村 匡、鈴木琢也
室井清孝、広瀬 俊、佐藤秀二

1. 活動実績報告

青島日本人会商工会は「企業活動にかかわる有効な情報交換の機会を提供する事」を目的に活動しています。具体的にはまず、会員企業の業種、業態に応じた分野別に4つの部会を設け各部会内での情報交換や交流会、社外見学会など。もう一つは様々な内容のセミナーを通じての情報提供です。

各部会の活動実績につきましては各部会長からのご報告に委ねる事とし、私からは今年度実施したセミナーの内容について簡単にご紹介させていただきます。

2. セミナー内容報告

①第1回(5/7 黄島区、5/8 市南区 ジェトロ共催)

「中国ビジネスの基礎知識と最近の会計・税務トピックス、査証新規定」

PWC 青島事務所 後藤洋一様

JETRO 青島 岩渕茂様

②第2回(5/28 黄島区、5/29 市南区)

「最新法律動向及び中国国内販売に伴う売掛金回収等の対応策」

大地(青島)法律事務所 熊琳様

③第3回(7/15 城陽区、7/16 市南区は二部構成 ジェトロ共催)

「事業再編時の労務問題・税務問題」

天津大野木マイツ 平出和弘様

「労務問題の実務・・・中国人労務担当者向け」…市南区会場のみ実施

文康法律事務所 張寧様

④第4回(9/10 黄島区、9/11 市南区 ジェトロ共催)

「現地法人での不正とその兆候、人材管理、税務/税関関連動向」

デロイト北京事務所 北村史郎様、降矢直人様、竹田剛様

⑤第5回(12/8 黄島区、12/9 市南区 ジェトロ共催)「

「中国経済の現状と先行き」

日本銀行北京事務所 夏目晃裕様

⑥第6回(1/22 市南区 ジェトロ共催)

「中国における知的財産法の基礎」

IP FORWARD 分部悠介様

⑦第7回(2/24 黄島区、2/25 市南区)

「新常态 中国経済の現状と展望」

上海華鐘コンサルタントグループ 古林恒雄様

「事例報告～不採算拠点の統廃合、人事労務管理と従業員の士気向上」

上海華鐘コンサルタントグループ 能瀬徹様

前年度と同じく7回のセミナーを通して各専門分野の講師から会員企業の皆様に、最も知りたい事、知っておくべき事を情報としてお伝えする事が出来たものと考えております。

また今年度は新たな試みとして城陽区に会場を設け城陽区、即墨区の皆様にに向けてセミナーを実施致しました。「住まいは市内にあるけれど、半日会社を留守にしてセミナーに参加するのは難しい」という方がおられるのでは無いかとの発想から実施したものでしたが、多少の課題が残ったと感じています。

全体的には年度初めに計画していた活動は各部会のそれも含めてほぼ実施できたものと感じていますが一点、日本人会、総領事館と連携し商工会として政府関係部門との交流を実施するとして計画は果たせませんでした。

ただこの事の必要性は会長はじめ理事各位も感じておられる所ですので次年度への課題とさせて頂きたいと思えます。

最後に、セミナーの開催に当たり全面的なご協力を賜りました JETRO 青島様、黄島区、城陽区、即墨区の各地区日本人会、そして業務御多忙の中商工会活動にご参加賜りました会員企業の皆様に感謝申し上げます。私の報告を終わらせて頂きます。
大変有難うございました。

以上

* 食品部会

部会長 井上聡

副部会長 蔭島末彦、大谷典義、菅野郁夫

1. 2015 年度活動報告概要

2015 年度は会員の皆様ならびにご訪問させて頂きました企業様のご理解とご支援を頂き、当初計画のとおり 3 回の部会を開催することができました。

2015 年度も「現場主義」をコンセプトに食品に関連する企業様の訪問を中心に活動してまいりました。

常駐日本人が減少傾向にあるなか、2015 年度の参加者は平均約 20 名となり、残念ながら昨年度を上回ることはできませんでした。

この場をお借りし、ご協力頂いた企業様にはお礼申し上げます。

2. 活動実績

2015 年度は企業様訪問を 2 回、セミナーを 1 回開催致しました。

第 1 回:6 月 26 日(金) 開催場所:青島琅琊台集团股份有限公司(黄島区)

- ・琅琊台酒の歴史と古酒の試飲
- ・発酵、蒸留工程の見学

見学会終了後、黄島区の勝山で懇親会を開催。

第 2 回:9 月 18 日(金) 開催場所:クラウンプラザホテル 3 階

①「最近の日中関係について」

講師 在青島日本国総領事 遠山 茂 様

②「最近の食品産業を巡る動きについて～中国の動向と日本政府の対応～」

講師 在中華人民共和国日本国大使館 参事官 伊藤 優志 様

③「相談傾向からみる青島市、山東省の事業環境」

講師 日本貿易振興機構 青島代表処 海外投資アドバイザー岩淵 茂 様

セミナー終了後、ベルデにて懇親会を開催。

第 3 回:12 月 18 日(金) 開催場所:獅王日用化工(青島)有限公司(黄島区)

- ・中国での口腔ヘルスケア商品の市場動向について
- ・歯ブラシ製造現場、歯磨き粉製造現場の見学

見学会終了後、黄島区の富士にて懇親会を開催。

3. 2016 年度活動方針

2016 年度も食品関連企業様または関連施設等の見学会とその後の懇親会という形式で 2～3 回の部会を開催したいと考えております。

少しでも多くの会員様のご参加が頂けるように企画致しますので何卒よろしくお願い致します。

また、引き続き在青島日本総領事館、ジェトロ青島事務所、北京の中国日本商会等との連携を密にし、会員の皆様に有用な情報を発信していきたいと考えています。

* 繊維部会

部会長 正村 匡

副部会長 山田眞久、佐野寛

1. 部会開催状況

2015年度は、年3回の開催を目標とし、6月、12月、3月の計3回部会を実施しました。今年度は、3回とも市内のホテルでの開催で、すべて部会終了後に懇親会も開催し、相互交流を深めました。

第1回 6月12日(金)

会議場所:クラウンプラザ

懇親会:牡丹亭

第2回 12月11日(金)

会議場所:クラウンプラザ

懇親会:牡丹亭

第3回 3月11日(金)

会議場所:クラウンプラザ

懇親会:吉宗

2. 活動内容

・第1回目は、新年度の一回目と言う事でメンバーの交替もあり、各会員の自己紹介を中心に実施しました。

・第2回目は、JETTRO様より、最近のJETTRO様に日系企業から相談のある事を、実例を中心にご報告頂き、質疑応答も含め、様々な意見交換ができ、メンバーにも参考になったかと思えます。

また、部会長であった、竹内氏が帰任した事により、第2回目より、正村が新部会長として幹事をさせて頂く事になり、自己紹介、今後の運営方法の説明をさせて頂きました。

・第3回目は、JETTRO様から、2015年度のアジア(特に中国)の実態報告をデータを下にご報告頂いたのと、第2回にメンバー様から依頼のあった、中国内販の実例、成功例を聞きたいという要望に対し、丸治皮革製品有限公司の徳水総経理から自社の中国内販の実例・成功体験を、プロジェクターを使い説明頂きました。

JETTRO様からの報告、徳水総経理のお話とも非常に好評で、特に徳水総経理の話は中国内販の実例・成功例として非常に興味深かったとの事でした。

3. 2016年度の活動方針、抱負

・繊維業界が非常に厳しい状況ですので、部会メンバーの情報交流を更に深めたいと考えており、年3回の開催を2016年度も予定しております。

・第1回目は6月を考えており、第2回目、3回目の日程もまだ未定ですが、一度は市外に出て工場見学等の、報告会形式の会議ではなく、外部での見学等を計画しております。

・業界が非常に厳しい環境下、皆様お忙しい中で部会に参加して頂くこととなりますので、部会では何か参考になる情報、もしくは情報交換をし、参加メンバーにとって有意義は部会となるよう、幹部の方で色々と考えて行きたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

*機械・電機・化学部会

部会長 鈴木琢也

副部会長 田村佳弘、朝倉拓和

第1回:懇談会 参加者 32名

日時:2015年6月4日 16:00~21:00

場所:クラウンプラザ3階 懇親会:日本料理『力丸』

内容:①会員各社紹介②懇親会

第2回:工場見学会 参加者 41名

日時:2015年10月15日 14:00~21:00

場所:工場訪問2社

艾斯凱環境設備(青島)有限公司

青島富士森電子有限公司

内容:①上記2社 工場見学 ②懇親会

懇親会:韓国焼肉『本家』(城陽区)

第3回:懇談会 及び セミナー 参加者 24名

日時:2016年3月21日 16:00~21:00

場所:クラウンプラザ3階 懇親会:日本料理『牡丹亭』

内容:①懇談会:中国経済悪化の中、各社の対応等

②セミナー :ジェトロ 岩渕様、在青島総領事館 遠山総領事

③懇親会

総括

2015年度 機械・電機・化学部会は、懇談、工場見学、セミナーをそれぞれ実施致しました。第1回目は会員各社の自社紹介、アピールなどを全員にお話して頂き、その後懇親会を実施。第2回目は城陽区の工場2社を見学させて頂きました、40名を超える大勢にご参加頂き、バスを2台チャーターするなど、皆さんの参加意欲も旺盛な会となりました。第3回目ですが、年度の最終の会となりましたが、中国経済が徐々に弱含みの中、各社思考を凝らしたご対応をされており、数社の皆さんにご紹介頂くなど、部会一同で今後の対応策のヒントを模索する有意義な懇談会となりました。

更にジェトロ様、日本総領事様より最近の中国情勢についてご講義頂きました、その後懇親会を実施、非常に盛り沢山の会となりました。

* 流通サービス部会

部会長 室井清孝

副部会長 大山浩司、平澤壽人、根占浩司

1. 総括

流通サービス部会は、運輸、倉庫、小売、各種サービス、金融など、業種が極めて多岐にわたります。他の部会と異なり、部会固有の課題を見つけるのが大変ななか、なるべく皆様に興味を持って頂けるようなテーマの講演や会員の知見を深める見学活動などを企画するよう努めております。また、皆様の交流の場としてもぜひご活用頂ければと考えております。今年度は、以下の通り計3回の部会活動を行いました。

第1回は、少し遅れましたが年度初めの顔合わせということもあり、日本食レストランで懇親会を行いました。

第2回は、元三菱総研香港支社長であり中国政治研究者の稲垣清氏をお招きし「中国政治動向セミナー」として最近の中国政治動向について講演いただき、非常に興味深いお話を聴くことができました。

第3回は、皆さん関心をお持ちの最近の人民元為替動向について部会長より説明させていただきました。また、2016年度の活動方針について討議し、部会の皆様から今後の部会運営に対して貴重なご意見を多数いただきました。

2. 活動内容

日 時	内 容
第1回 2015年6月5日(金)	懇親会のみ 於:吉宗
第2回 2015年12月2日(水)	「中国政治動向セミナー」 講師:稲垣清氏(元三菱総研香港支社長 /中国政治研究者) 及び懇親会 於:吉宗
第3回 2016年3月23日(水)	「最近の人民元為替動向について」 講師:室井部会長 2016年度の流通サービス部会活動方針 について全体討議 及び懇親会 於:吉宗

3. 次年度の活動について

今年度第3回の全体討議の場で頂いた貴重なご意見を踏まえ、できるだけ多くの会員に参加頂けるよう企画に工夫をこらして参りたいと考えています。その他にも講演のテーマや会のあり方そのものについて、ご意見がありましたら、何なりとお寄せ頂ければ幸甚に存じます。

今年度は、3回から4回程度の部会開催を予定しています。第1回は年度初めの顔合わせの意味もあり、盛大に懇親会を開催する予定です。ぜひ会員の皆様の多数参加をお待ちしております。

(3) 生活文化会 活動報告

生活分文化会会長 清水雅彦
副会長 加藤英次、根占浩司
大芝光輝、大山浩司

生活文化会は、青島日本人会という日系コミュニティーの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動や地域貢献活動、生活文化関連の様々な取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「6つの同好会(2016年4月1日現在)」が帰属し、其々が青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆様の安全を確保し、快適な青島での生活を送って頂くため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

1. 主な行事活動

2015年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催で様々な行事を企画し、会員の皆様のご理解を賜り、ご協力、ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。2015年度に生活文化会が取り組みました主な活動につき以下、報告申し上げます。

①6月27日(土)「青島日本人会運動会」

昨年同様青島日本人学校の体育館にて開催。当日は200名を超える方に参加いただき赤、青、白組によるチーム対抗戦で、ビーチボールバレー、未就学児童による20m競争、障害物競走、玉入れ競争、また、今年新たに企画された借物競争、ガチンコリレーも加わり各種競技に熱戦を繰り広げました。最後のプログラムとなった綱引きではチーム全員が一つになり、各組が死力を振り絞った稀に見る熱戦となりました。最後まであきらめずに綱を引く姿は、競技に参加している人、応援している人の一体感を最高潮に高め、最終種目に相応しい盛り上がりとなりました。その他の競技でも、ご家族揃ってご参加される姿も多く、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

②7月11日(土)、11月1日(日)「社会奉仕活動」

昨年に引き続き、中国に暮らす我々が現地で何か出来ないかという考えの中、今年度も社会奉仕活動として青島第一海水浴場での清掃活動を実施しました。社会奉仕活動も3年目を迎え、定着した行事となり、特に今年度は活動の活性化を図る目的に沿って、年2回実施することができました。2回の実施ともに約100名の方にご参集頂き、午前9時半から約1時間作業を行いました。参加者は、海岸を歩きながら積極的にゴミを回収していただき、集めたゴミも想定していた量を超え、大いに成果がありました。お世話になっている青

島への感謝の気持ちを表すことができました

③8月22日(土)「納涼祭り」

「子供たちのために、子供たちが喜ぶイベント」として始まったこの納涼祭も本年度で3年目を迎え、麗晶大酒店(リージェンシーホテル)の屋上テニスコートにて中国人の方も含めて約400名の方々に参加いただき盛大に開催することができました。

祭り当日は炎天下の中での開催となりましたが、「焼きそば」「お好み焼き」「カレーライス」等ご出店頂いた美味しい料理に舌鼓を打ち、夏祭りの定番である「金魚すくい」「スーパーボールすくい」「ヨーヨー釣り」「ストラックアウト」や懐かしい「型抜き」「すいか割り」「輪投げ」などのゲームは、最初から最後まで子供たちの笑顔と熱気に包まれました。

祭り中盤の盆踊りでは、PTAや婦人会、日本人学校の方々にご指導ご協力をいただき、大人と子供が一体となり、祭りのフィナーレでは夜空を彩る打ち上げ花火を見上げて、ご家族揃って日本の夏祭りを十分に満喫していただけたのではないかと思います。

④11月14日(土)～11月15日(日)「第4回青島ジャパンデイ」

昨年に引き続き、青島日本人会、在青島日本国総領事館、JETRO、青島イオン等の主催により、青島イオン東部店の1階特設イベントスペースにてジャパンデイが開催されました。会員企業を含む15以上の日系企業や団体が日本食、日本製品などのブースを出展。日本の地方自治体からの関係者も出展し、それぞれの観光地や特産品の紹介、華道・津軽三味線等による日本文化の紹介を行いました。

両日ともに、多くの中国人来場者がブースを訪問し、試食や実際に商品を手に取り、日本への関心が高まったものと実感しました。中国人の訪日人数は増加しており「爆買い」への注目度も高まっておりますが、まだ、訪日されていない方々へのジャパンプランドの御紹介、訪日観光の促進、日本文化を知る機会、日本食の魅力等を発信する目的は十分果たせたと思います。

⑤1月16日(土)「新年会」

青島日本人会最大のイベントである新年会を、今年は場所を青島威斯汀酒店(ウエスティンホテル)に移し開催致しました。大人・子供合わせて約320名の会員の方々に参加頂き、盛大な会となりました。開演前の「餅つき」に始まり、オープニングの獅子舞、恒例の日本人学校生徒による迫力ある和太鼓演奏、マジックと楽しい出し物が続き、その後のゲーム大会においては、これまでとは違った全員参加型の青島紅白歌合戦や大じゃんけん大会で更に盛り上がり、クライマックスの豪華景品が当たる「プレミアム抽選会」では会員企業様からご提供いただきました商品の当選番号が発表されるたびに歓声が沸き上がり、大人も子供も家族みんなの笑顔が絶えない、アットホームな雰囲気の中にも例年以上に盛り上がった新年会になりました。

本年度実施しました運動会、社会奉仕活動、納涼祭り、青島ジャパンデイ、新年会、などの開催にあたっては、様々なご支援、ご協力を頂いた関係各位、まだまだ経済環境厳しい中、多くの景品をご提供頂いた会員企業の皆様、開催前の事前準備、当日朝早くから会

場で準備頂いた皆様、会運営にご協力頂いた婦人会、同好会をはじめとするボランティアの皆様のお蔭で、会員相互の交流、親睦を深める非常に有意義な行事とすることが出来ましたことを改めて御礼申し上げます。

引き続き、生活文化会の活動につきましてご理解を賜り、ご協力、ご支援、またご参加を頂戴したくよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」の発刊。日本人が多く住んでいる銀都花園にある「チンタオ文庫」を運営しております。更に、婦人会の活動、ゴルフ、テニス、ソフトボール、ヨットの体育会系同好会と写真、青島歴史研究会の文化系同好会、そして昨今の大気汚染など私ども青島に住む生活者の安全という面で総領事館と連携しながら活動しています。以下にそれらの活動報告を乗せましたので、ご一読頂ければ幸いです。

今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

*ちんたお文庫活動報告

前期役員 大橋、大谷、中川
後期役員 大谷、中川、菅野

文庫蔵書総数	およそ 6,600 冊
新規会員年間総数	29 人
年間利用者延べ数	1122 人
寄贈本年間冊数	1714 冊

1. 役員活動内容

- ・アルバイトへの仕事内容指示、チェック(週に一度)
- ・アルバイト休みの際の開館
- ・文庫休館のお知らせ作成
- ・文庫内の大掃除・蔵書整理(古い本の処分など)
- ・帰国者などの管理

2. 今年度活動報告

- ・役員会(日本人会にて2回)
- ・ちんたお文庫内にてイベントの開催

(毎月1回の読み聞かせとストーリーテリング)

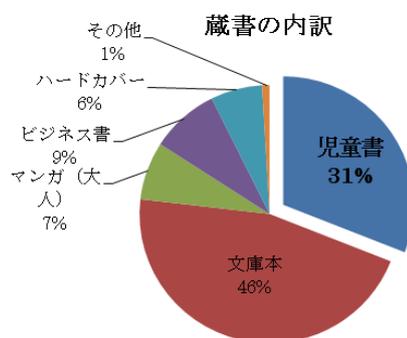
- ・日本人会会員向けアンケートの実施
- ・アンケート結果を踏まえ、在青日本人にちんたお文庫の周知を図るため、
月間青島に『ちんたお文庫便り』の掲載を開始(8月号より毎月更新)
- ・備品類の購入(折りたたみ椅子、ブックエンド、傘立て等)
- ・松岡享子さんより寄贈いただいた児童書のコーナーを設置
- ・DVDの貸し出しの開始

3.総括

昨年度8月の銀都花園への再引っ越しから、順調に来館者数を回復し、月によっては前年度を割ることもありましたが、全体的には増加傾向となりました。

月刊青島への『ちんたお文庫便り』の掲載や月1回のぷくぷく文庫さんによる読み聞かせとストーリーテリングを実施したことで、よりちんたお文庫の存在を周知できたのではないのでしょうか。

また、昨年度も留意事項としてあがっておりましたが、子供向けの本が漫画や育児本を含めても全体の3割程度となっており(ちんたお文庫の引越しの際に子供向けの本を寄付してしまったため)、依然として児童書が充実しているとは言いつらい状況です。



4.次年度への課題

今年度はちんたお文庫が銀都花園に戻り2年目、再び身近な存在として認識して、頂け、来館者数も順調に増えました。寄贈本も増え、整理も追いつかない状況のなか、子供向け書籍はなかなか増えず、今後も寄付のお願いを行っていききたいと思います。

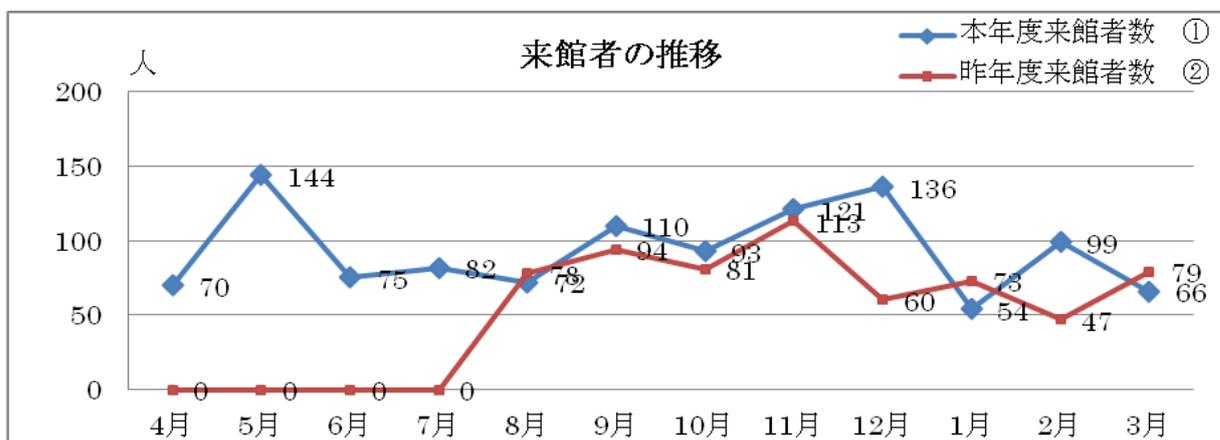
また、ボランティアメンバーも増え、活動も取り組みやすくなりました。この年度末に帰国する方が何名かいらっしゃるの、新たなボランティアメンバー参加の呼びかけを行っていききたいと思います。

なお、3月末より試験的に開館曜日・時間の変更も行い、さらに利用しやすくすべく今後も様々な見直しを図っていききたいと思います。

ちんたお文庫は、会員の皆様のご協力のもとに成り立っている図書館です。青島在住の日本人の皆さんに少しでも気持ち良く利用していただける図書館になるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

資料:年間来館者の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本年度来館者数①	70人	144人	75人	82人	72人	110人	93人	121人	136人	54人	99人	66人	1122人
昨年度来館者数②	0人	0人	0人	0人	78人	94人	81人	113人	60人	73人	43人	79人	625人
増減数①－②	70人	144人	75人	82人	-6人	16人	12人	8人	76人	-19人	56人	-13人	497人
新規会員	2人	3人	4人	0人	6人	0人	6人	3人	2人	0人	2人	1人	29人
新規登録本	81冊	93冊	56冊	76冊	55冊	59冊	112冊	306冊	130冊	59冊	0冊	163冊	1190冊



* 情報誌「月刊青島」

編集長 加藤 英次

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月10日を目処に発信しており、2015年度は月平均約900回のアクセスがありました。

「月刊青島」では、総会、社会奉仕活動、運動会、納涼祭、新年会等の日本人会の活動についての報告、総領事館・ジェトロ・青島日本人学校からのお知らせ、公認同好会だより、婦人会通信、グリーン放弾やちんたお文庫だより、会員の動向等の情報を掲載しています。また、青島物語の転載を行っており、昨年からは、ふるさと自慢やあの頃のチンタオといった新しい連載を始めました。

日本人会会員の皆様の役に立つ生活情報の発信や、「青島」における「縁」と「絆」を大切に多くの会員の皆様に誌面に登場していただけるようなコーナーを、2016年度も引き続き掲載していきたいと考えております。

「月刊青島」は、日本人会会員の皆様のご協力・ご支援をいただき、そして皆様に支えられて発信を行っています。WEB情報誌の編集にご関心のある方は是非ご連絡ください。また、「月刊青島」に対するご要望・ご意見、取り上げてほしい企画等がありましたらご連絡ください。

* 安全活動委員会

日本人会では2013年より緊急事態に会社のPCでしか情報が見れない方を想定して各人の携帯電話に直接日本語で通報するシステムを開発し実施してきましたが、4月27日及び11月18日にテストメールを実施したところ到達率が低く改善できませんでした。一方で総領事館でも携帯通信網の導入がされテスト発信が行われるようになりましたことで、日本人会としての携帯電話通信サービスは取りやめる(12月21日通信)こととしました。

引き続き 外地で安全・安心な生活を送るために総領事館と連携を密にしながら情報伝達に勤め、環境情報や講演会の実施などをタイムリーに行っていきます。

* 青島歴史研究会

青島日本人会は2010年に20周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。その節、戦前に青島で生活され、日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログを掲載されていた足立吉弘様(故人)を中心に、戦前の日本人社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。また、諸先輩方より、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり、保存しています。

残念ながら、先輩の不幸や体調不良で、特に戦前の青島とゆかりの方は年々減少していくのは避けられません。

15年度の交流では、唯一、青島高等女学校の創立100周年を記念して卒業生による「若鶴会」が5月18日大阪で開催され、日本人会からも出席(事務局池田)し 交歓と同時に

校旗、往事の写真などを預かりました。

また、青島勤務を終えて日本に帰国された方々が各地で連絡をとりながら「青島会」を開いています。これらの「青島会」と連絡を取りながら、戦前と戦後をつなぐ「青島の日本人」の足跡を残す活動を続けたいと思います。

* 婦人会活動報告

会員数:19名(2016年3月現在)

婦人会の活動としては、2015年度の前年度同様、4月の婦人会総会、6月と10月の定例バスツアー、12月のクリスマスが主な活動となりました。婦人の集まりということから、各イベントは昼食をはさんだ時間帯になり、食事をともにしながら、各メンバーが情報交換したり、知り合いの輪を広げる場所を提供してまいりました。

1.2015年度の活動報告

4月の総会后、6月・10月に定例バスツアーを実施しました。また前年度に引き続き、婦人会専用 Yahoo メールアドレスを引き継ぎ使用し、大使館、青島日本人会から配信されるお知らせ、各種イベントや生活情報、女性を対象としたイベントの案内を配信しています。婦人会の活動をより多くの方々に知っていただくこと、日本人会マガジン「月刊青島」にて婦人会の記事を不定期に掲載しました。婦人会カードは、様々な店舗のご協力を賜り、割引や特典といったサービスを受ける事ができました。

2.活動内容

2015年 4月	総会 (La Luna Rossa)	17名参加
6月	定例会 (大多福食品工場見学)	18名参加
10月	定例会 (丸治皮革製品工場見学)	15名参加
12月	クリスマス会(イタリアンレストランヴェルデ) 天皇誕生日レセプションパーティー	27名参加 (役員 2名参加)
2016年 1月	青島日本人会新年会の受付ボランティア	(役員 2名参加)
2月	中国文化サロン体験会	4名参加

3.来年度の抱負として

青島在住の日本人が減少する中、婦人会のメンバーも昨年同時期に較べ少なくなっています。婦人会としては、現在まだご加入をいただいていない青島在住の日本人女性及び日本人配偶者を持つ女性にも働きかけ、より多くの方が興味をもって気軽に参加できるようなイベントを企画していきたいと思っております。情報発信という点では、今後は大使館や青島日本人会からの情報を転送するだけでなく、婦人会オリジナルの情報をさらに盛りだくさんに提供していけたらと考えています。

また、青島での生活に欠かせない語学の習得や、スポーツ・文化サークルの紹介なども、より多くの有意義な情報を収集して、会員の皆様に紹介していきたいと思っております。

4.2016 年度に予定している行事

婦人会総会:4月 定例会:6月・9月 クリスマス会:12月

*ゴルフ同好会活動報告

会長 小森 茂樹
事務局長 昆野 裕治

2015 年度	開催日	開催地	参加人数
第 110 回	2015 年 3 月 28 日	石老人	59
第 111 回	2015 年 5 月 16 日	海陽タイガービーチ	47
第 112 回	2015 年 7 月 4 日	嶺海温泉	48
第 113 回	2015 年 9 月 5 日	海陽タイガービーチ	79
第 114 回	2015 年 11 月 7 日	石老人	55
		延べ参加者数	288 名

お蔭様で昨年度(2015 年度)は、上記の通り 5 回のコンペを開催し、延べ 288 名の方々にご参加いただきました。

昨年度も、数多くの企業様、団体様、個人様から賞品をご提供いただきました。

賞品をご提供くださった企業様、団体様各位に改めて感謝の意を表しますと同時に、今後とも広く会員の皆様方からのご協力・ご協賛を宜しくお願い申し上げます。

皆様の金銭的に負担にならない範囲(サンプル品等大歓迎)で、商品等をご提供いただければと存じます。

コンペ後の表彰式及び懇親会では、個別にご協力に対する敬意を表明したいと考えております。ご賛同いただける企業様、個人様は、是非とも事務局にお申出をお願い申し上げます。

2016 年度は 3 月最終週に、『青島総領事杯』として開幕戦を実施致しました。

(華山GCにて、参加者 42 名)

次回の第 116 回コンペは、5 月 21 日(土)の予定です。(開催コース未定)

今年度は、以下の日程でコンペを予定しております。これまで参加出来なかった方々も、是非お気軽にお申込み下さい。(日本人会一斉メールより、「コンペのご案内」を配信する予定です)

「敷居の高くない。誰もが楽しめるようなコンペ」を企画しております。若い方も積極的に参加して頂いてゴルフの魅力を感じてもらえる機会にしたい、またその為の雰囲気作りを積極的に進めていくつもりです。

引続き宜しくお願い申し上げます。

《2016 年度日本人会ゴルフコンペ 開催予定表》

月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
回数		第115回		第116回		第117回		第118回		第119回	
日		26		21		9		10		5	
曜日		土		土		土		土		土	

場所 華山GC

***テニス同好会活動報告**

会長 大橋 勲
会計 大橋 一夫

1.会概要

目的: テニスを通して、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る

会員数: 2016年3月末現在、37名(男性26名/女性11名)にて運営

会費: 600元/半期(高校生以下は300元)

活動場所/時間: 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30~12:30

練習内容: 9:30~11:00 レベル別スクール形式での練習

11:00~12:30 レベル別試合形式での練習

(12:30~ 昼食会、但し自由参加)

2.年間活動

定期活動: 毎週日曜日の定期練習

イベント: ・4月 ボーリング大会、懇親会

・7月 チーム内紅白戦

・9、10月 韓国チームとの交流戦

・12月 チーム内紅白戦、クリスマス会

・12月 深セン日本人チームとの交流戦

対外試合: 8月 青島杯(韓国、中国チームとの団体戦)

*送別会など帰国及び異動される方がいる場合適宜実施

【収支】

前年度繰越金 14,896 元

15年度収入 31,320 元

15年度支出 22,283 元

次年度繰越金 23,933 元

3.総括

2015 年度も、ほぼ休まず毎週日曜日テニス活動を行ってまいりました。本年度も昨年に引き続き、上級者から初中級者、小学生から年配の方まで幅広く新入会員の方々が入部、特に女性会員も 3 名→11 名まで増え、テニス同好会会員の層が更に厚くなりました。

メンバー一同は、日々技術向上を図っており、上級者については、一番のイベントである対外試合「青網杯」において昨年のベスト8以上をと臨みましたが、残念ながら予選敗退となりました。これを受け更なる技術向上として、中国、韓国との交流試合を増やし、現在は精神的にも強くなってきたと実感しています。また、初中級、上級者ともに、日曜日以外にも、水曜日、土曜日と有志で気軽に集って、レベルアップを図っております。

そしてテニスの追及以上に力を入れてきたのが、老若男女問わず、練習やゲーム時の一体感と、アットホームな雰囲気作りです。また定期的な懇親会やクリスマス会などを催し、テニス以外での人脈作りや情報交流の場となっています。

2016 年度は、上位チームは「青網杯」で更なる上位進出、初中級チームは、交流戦の機会を多くし、韓国、中国などと国際交流をより深めて行きたいと考えております。テニス同好会が、健康促進と憩いの場として継続するよう、会員一同の協力の元、運営していきたいと思っております。

*ソフトボール同好会活動報告

1.会概要

「本会は、ソフトボール及び野球を愛する会員の、相互親睦と技術向上を主たる目的とする。

2015 年 12 月末現在、一般会員 50 名(男性 49 名／女性 1 名)から成り、石田(会長)が会員より選任した、17 名の委員で運営委員会を構成する。(運営・渉外部、企画部、会計部、広報・事務局の計 5 部門) 活動場所:科技大学グラウンド、

活動時間:毎週日曜日午前 8 時 15 分～正午。

年会費:男性 600 元、女性 400 元、学生 300 元、家族・夫婦 800 元。

2.年間活動

1 月のドラフト会議で、本年を戦う 3 チームと選手を決定し、3 月 8 日に開幕戦ー12 月 6 日を最終戦とした、約 9 ヶ月に及ぶ“青島ソフトボールリーグ戦『2015』”を開催。

毎週日曜日に総当たり戦 3 試合を実施、各チームが 52 試合を消化し、12 月 6 日の優勝決定戦を経て 2015 年度優勝チームを決定。優勝チームの表彰と優秀選手の表彰を同好会総会にて実施します。

3.特別活動

例年 5 月と 11 月に上海で開催される華東地区ソフトボール大会では、帰国、転勤者も多く 5 月は不参加、11 月は 2 チームにて参加し、2 部リーグでは善戦。3 部リーグでは準優勝という果を得られる事が出来ました。また本年度より現役会員のさらなる交流等を目的に、チームメンバーをシャッフルして 2 週にわたる CUP 戦を開催しました。

他には SB 同好会内にて、ボーリング大会、BBQ 大会など多彩な行事を開催。

	リーグ戦以外の行事など	賞品協賛
1月	ドラフト会議／同好会新年会／ボーリング大会	
2月		
3月	リーグ戦(前期)開幕/プレイボールパーティー	森田ふとん店様
4月		
5月	青島にて黄島チームを招き交流試合	BISTRO 縁源様
6月	前期終了／バーベキュー大会	
7月	CUP 戦開催／後期開幕	
8月	青島にて中国人チームを招き交流試合	
9月		
10月	日本(東京)にてOBチーム対現役チームの交流試合	
11月	華東地区ソフトボール大会、2部リーグ(焼酎チーム善戦)、 3部リーグ(清酒チーム準優勝)	
12月	後期終了／優勝決定戦／同好会総会／忘年会／	
その他	日本人会主催各種行事への参加と協力を行う。	

2015年度は帰任・転勤にて約11名の方を送別会にて見送った1年でした。しかし、8名の新しい入会者を仲間として同好会へ迎える事ができました。これは、会員の努力もさることながら、日本人会や各企業様が同好会の紹介をしていただき、また賞品ご協賛などの多大なるご支援のおかげと感謝致します。有難うございました。2016年度も、会員の笑顔が絶えない、楽しく魅力的な、同好会活動を実施いたします。

*ヨット同好会活動報告

代表:西垣健作

会員:大人13名、子ども1名

1. 会概要

本同好会は、青島日本人会の目的・規約と精神に則り、青島に在住する日本人のヨット活動を通じ会員相互の親睦を図り、健康と余暇の充実に寄与する事を目的とする。場所は青島オリンピックマリーナを主なエリアとし週末、船をレンタル、スクールレッスンを中心に活動しています。練習を通じセーリング技術の向上、体力作りをメンバー皆で楽しく行っています。大人はディンギー(キャビンの無い船)だけでなく今年も青島で開催されるCCOR(城市倶楽部帆船賽)、クルーザーレースにも参加予定しています。子供達はヨットスクールで日本人だけでなく様々な国籍の子供達と一緒にセーリングを楽しんでいます。メンバーは随時募集しています。5月には無料のヨット体験会開催を予定していますので興味のある方は大人、子供問わず参加ください。

2.年間活動報告

4月経験者(大人、子供)活動開始、5月始参加メンバーの為のヨット体験会開催。6月-7月 子どもヨット教室活動開始。(タッカー、OPビギナー、OPアドバンス)

各チーム3-4名に分かれ毎週末活動を行うクラブ内レース参加

8月夏休み中、子供達は個人的にスクールに参加。9月-10月 子どもヨット教室(秋の部)活動開始 ヨットレース参加(10月20日)11月7、8日“龍達”杯 2015 中国(青島)“双船隊賽”(KTR)・秋季賽参加 8位

12月31日 1月1日“龍達”杯 2015 中国(青島)“双船隊賽”(KTR)・冬季賽参加 3位

3.2016年度の目標

・子供達は世界中の子供達と一緒に練習を行い、毎月行われるレースに参加。

・大人達はディンギーでの個人レッスン、KTRクルーザーレース参加。

*写真同好会活動報告

会長:平田至範(連絡先 15553215582)

副会長:大石純(連絡先 15865322927)

2015年度	月例開催日	開催地	月例会テーマ		
4月度	4月12日	キヤノン青島事務所	① 橋	② 春	③自由
5月度	5月10日	キヤノン青島事務所	① 日常生活	② 路地	③自由
6月度	6月14日	キヤノン青島事務所	① 夜景	② 生物	③自由
7月度	7月12日	キヤノン青島事務所	① シャッターチャンス	② 水	③自由
8月度	8月9日	キヤノン青島事務所	① 夏	② 逆光	③自由
9月度	9月13日	キヤノン青島事務所	① 空	② 八大関	③自由
10月度	10月11日	キヤノン青島事務所	① スローシャッター	② 実り	③自由
11月度	11月8日	キヤノン青島事務所	① 動物	② 秋	③自由
12月度	12月6日	キヤノン青島事務所	① 嶗山	② 温かい食べ物	③自由
1月度	1月10日	キヤノン青島事務所	① 冬	② お祝い	③自由
2月度	2月14日	山東海外国際旅行社	① 春節	② 白黒	③自由
3月度	3月13日	キヤノン青島事務所	① 日の出夕日	② 古い街並み	③自由

写真同好会では、「青島キャノン」様のサポートを受けて、毎月一回定例会を開催しています。撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「コミュニケーション」「すまいるちゃん」等に掲載されます。

また、日本料理店「熱海」様のご協力で毎月入賞作品を店内に展示しています。

日本人学校運動会やチャリティフリーマーケット、新年会等では撮影協力をさせていただきました。また、11月15日には日本人会の協賛により嶗山で紅葉の撮影会を開催いたしました。今後も撮影会や撮影旅行を予定しております。

写真撮影にご興味のある方のご参加をお待ちしております。

(4) 2015 年度青島日本人学校運営理事会活動報告

青島日本人学校運営理事会
理事長 廣瀬 俊
副理事長 藤井 伸明

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

2000 年開校の補習授業校時代を経て、2004 年に創立した青島日本人学校は、2008 年に現在の新校舎が完成し、大変充実した教育環境が整いました。

「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」という教育目標の実現に向け、青島の地域性を生かした教育課程を編成し、中国の自然、歴史、文化に触れる事で、国際人としての心を育て、国際性豊かな児童・生徒の育成を行っています。日本全国から集まった個性あふれる教職員の熱心な指導の下、生徒たちは、「大家族」の様な一体感のある学校生活を送っています。

2015 年度は、中国の景気減速や大気汚染他の影響を受けているものの、生徒数は 1 学期始業式時点の 68 名(小学部 60 名、中学部 8 名)からスタートしたものの、8 月時点では 79 名(同 68 名、11 名)に達し、3 学期終了時点で 71 名(同 62 名、9 名)となりました。

一方、生徒数減少による収入減で懸案となっておりました財政問題については、2014 年度の学費の値上げに加え、青島日本人会からの拠出金・日本国政府からの補助金、皆様のご厚意による寄付(青島日本人会会員企業、個人等による任意寄付金、各種行事における寄付他)に因り、健全化に向けた足場を固めることが出来ました。

同時に、在青島日本国総領事館のご協力も得て、青島市政府(外事弁公室、教育局、商務局他)に対し、粘り強く支援要請を行って参りましたが、従来より未解決となっていた懸案事項(家賃に対する不動産税、現地採用教員の個人所得税等)について、一定の成果を見るに至り、より具体的な改善策の検討に移れることとなりました。

【主な活動実績・決議事項】

■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決定
- ・ 各種報告(校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他)

■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催(年 10 回)
(主な決議事項)
 - ✓ 日本人学校規則の改正(4 月)
 - ✓ 中国の休日対応、緊急連絡網(5 月)
 - ✓ 2015 年度決算、2016 年度予算承認(1 月)
 - ✓ 2016 年度理監事体制(2 月)
- ・ 主催行事・活動
 - ✓ 青島日本人学校派遣教員歓迎会(4 月)
 - ✓ 青島日本人学校運営状況 説明(1 月、入学説明会)
 - ✓ 青島日本人学校帰任職員送別会(3 月)

【学校案内】

名 称:青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

校 長:登喜 龍一郎(2014 年 3 月 15 日着任)

教職員:文部科学省派遣教員(校長含む)10 名、現地採用常勤講師 2 名、
事務 3 名

住 所:青島市市北区同安路 56 号

学 費:入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月
(別途、スクールバス・PTA 会費他)

第2号議案

2015年度会計報告

(2015年4月1日～2016年3月31日)

2016年4月16日
(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1.前年度繰越金	382,492	1.事務局費	269,671
2.2015年度会費収入	794,800	2.商工会活動費	63,510
法人会員(354社が納付)	788,200	全体会	38,430
個人会員(33人*200元)	6,600	部会	19,880
3.臨時会費収入	110,510	地区分科会	5,200
・総会懇親会会費	33,250	3.生活文化関連費	112,522
・新年会会費	77,260	婦人会	2,830
4.銀行利子	5,132	ちんたお文庫	45,646
5.その他(寄付など)	400	運動会	300
		月刊青島	18,000
		歴史保存会	4,254
		納涼会	16,914
		公認同好会支援	23,892
		その他予備費	686
		4.会議費	117,808
		総会	35,898
		新年会	81,910
		5.日本人学校支援費	250,000
		6.ジャパンデー関連行事	40,000
		7.情報整理(HP改修等)	500
		8.特別講演会の開催	0
		9.安全対策活動費	0
		10.次年度繰越金	439,323
【 合計 】	1,293,334	【 合計 】	1,293,334

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に規則り、第25期(2015年4月1日～2016年3月31日)の会計検査を関係帳簿、信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2016年4月16日
青島日本人会 監事

中川伊五郎

今岡清彦

第4号議案

2016年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

	名前	所属企業名	職位
理事	朝倉 拓和	青島松下電子部品(保税区)有限公司	総経理
理事	大芝 光輝	青島光輝工芸品有限公司	総経理
理事	大谷 典義	青島扶桑精製加工有限公司	総経理
理事	大山 浩司	日本興亜財産保険(中国)有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	奥 憲明	青島聯合包装有限公司	総経理
理事	蔭島 末彦	青島日東食品有限公司	総経理
理事	加藤 英次	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	小松 宏彦	新日清制粉食品(青島)有限公司	董事長
理事	佐藤 秀二	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所 長
理事	清水 雅彦	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	杉田 貴史	カケンテストセンター青島試験室	室 長
理事	田村 佳弘	東麗医療科技(青島)股份有限公司	総経理
理事	中村 明正	洋馬発動機(山東)有限公司	総経理
理事	根占 浩司	雅瑪多国際物流有限公司青島分公司	総経理
理事	能勢 稔彦	伊藤忠(青島)有限公司	総経理
理事	平澤 壽人	丸紅(青島)有限公司	総経理
理事	広瀬 俊	みずほ銀行(中国)有限公司 青島支店	支店長
理事	廣田 至夫	全日本空輸株式会社青島支店	支店長
理事	藤井 伸明	三菱商事(青島)有限公司	総経理
理事	前田 裕之	青島日水食品研究開発有限公司	総経理
理事	正村 匡	青島藤華服装有限公司	総経理
理事	室井 清孝	三菱東京日聯銀行(中国)青島分行	支店長
理事	矢部 千尋	艾斯凱環境設備(青島)有限公司	総経理
理事	山田 眞久	青島萩原工業有限公司	総経理
監事	今岡 清彦	獅王日用化工(青島)有限公司	工場長
監事	中川 伊正	青島永旺東泰商業有限公司	総経理

第5号議案

(1)2016年度事業活動計画

青島日本人会会長
奥 憲明

1. 全般

会長職の輪番制導入2年目にあたる今年度、その輪番制によって青島日本人会会長に就任する事となりました。

昨年度に副会長と商工会会長を担当させて頂き、初めて日本人会を運営する側として舞台裏に廻った時に、理事会のメンバーが日本人会をいかにより良いものにするか、会員企業の皆様に喜んで頂けるにはどんな活動を企画すれば良いのか、などを手弁当でお互いに助け合いながら真剣に議論、検討して運営を担っている事を知りました。

まずは、会長という運営側の立場からはやや手前味噌かも知れませんが、この理事会の雰囲気、相互扶助の精神は絶やさぬよう受け継いで参りたいと思います。

現在、我々を取り巻く環境は非常に厳しいモノが有ります。いちいち挙げませんがネガティブな要因には事欠かないここ数年の状況であります。

しかしながら、こんな時だからこそ青島に暮らす日本人はより結束し、より明るくよりパワフルなコミュニティを築いてゆく必要があると思います。

青島日本人会には四半世紀に及ぶ歴史があります。過去に諸先輩方がそれこそ知恵と工夫と勇気で難題を克服してこられたその歩みを我々も次の皆さんに引き継いで参りたいと思います。

活動内容としては、今年度も今までと同様に、在青島日本国総領事館、ジェトロ青島事務所とも連携しより多くの方に参加して頂ける様々な活動や会員の相互交流、外部との交流活動等を進めて参りたいと考えます。会員の皆様におかれましては更なるご支援とご協力、イベントへの積極的なご参加をどうか宜しくお願い申し上げます。

2. 活動計画

- ① 青島市政府機関との関係を強化し、日本人の生活環境、企業活動環境の整備向上の為の提言を行う。
- ② 青島日本人学校の運営を通じ、家族帯同者が安心して生活できる環境を維持整備する。
- ③ 緊急事態発生時の対応の整備、安全情報等各種情報の収集と発信。
- ④ 他国、他地域の日本人会、組織との交流および情報交換。
- ⑤ 地域貢献活動。
- ⑥ 他国コミュニティとの交流。

(2)商工会

商工会会長

平澤 壽人

習近平体制の発足から3年余りが経過、今年3月に開催された全人代においては2020年までの第13次5か年計画が採択されました。今年度のGDP成長率目標については、6.5%～7.0%と幅を持たせる形でやや下げて設定、過剰生産能力・過剰在庫の解消など供給側の構造改革、一方ではサービス消費など内需の掘り起し、対外開放推進などの方針が示されました。米国と共に世界景気を牽引する中国の動向に世界が注目すると共に、新常态の下で、成長を続ける巨大な中国市場そのものの重要性も広く認識されていると言えます。

中国における日系企業を取り巻く環境としては、賃金の上昇・高止まり、最近流れが変わってきていますが円安の影響、中国国内の景気減速の影響などがあり、日本向け輸出比率の高い企業にとっては、特に厳しい状況となっています。一方、訪日観光客の増加、日本文化への理解の深まり、日本製品への憧れ、信頼感の高まりなど、日系企業にとり好ましい傾向も続いていると言えます。

さて今年度の商工会活動におきましては従来と同様、青島の日系企業各社が円滑に企業活動を行い、持続的に成長する事、また商品・サービス等の提供や雇用などを通じて地域社会に貢献し、日系企業として快く受け入れられる事を、お手伝いする活動を行って参ります。具体的には、①商工会内4つの各部会における情報交換会・見学会などの実施、②セミナー開催を中心とした情報提供、③政府関係機関との交流を通して、地域経済・社会に深く関わる各企業の姿・活動をアピールし、理解と協力を求めることに取り組んで参ります。

1.各部会活動について

業種・業界をベースに「食品部会」「繊維部会」「機械・電気・化学部会」及び「流通・サービス部会」の4つの部会に分かれての活動を行っています。各部会においては、それぞれ固有のニーズ・課題に応じて活動を行い、会員企業同士の交流の場を提供しています。これらの部会活動には、業種・業界の枠を超えてのご参加も歓迎致しますし、異業種間交流的な場も皆様のご意見を賜りながら、設けて行きたいと思っております。

2.セミナー開催について

昨年度は計7回のセミナーが開催され、多くの方々にご参加頂きました。今年度も会員企業の活動に必要或いは有益と思われるテーマをピックアップし、JETROとの共催も含めて皆様への情報提供の場を設けて参ります。皆様への便宜を図るため、青島地区以外のセミナーについても適宜開催をするように致します。

3.政府関係機関との交流について

ここ数年、青島日本人会として、青島市政府事務局との交流を進め、関係強化に取り組んで参りました。今年度も総領事館、JETROと連携し、その関係を更に深め、会員各社の皆様と市政府とのパイプ役としてお役に立つ事が出来ればと考えて

おります。

会員各社の皆様のご意見ご要望を伺いながら、お役に立てる活動を進めていきたいと思
いますので、一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(3)生活文化会

生活文化会会長 清水 雅彦

2016 年度の活動方針

青島において日本人駐在員が年々減少している中、日本人同士が心を通わせて、お互い
にコミュニケーションを図ることができる場面を提供することを目的として活動してまいります。
会員皆様方のご意見を頂きながら、昨年度実施した内容を充実させて、子供たちの笑顔が
溢れる、ご家族全員が参加しやすい行事の開催を目指していきたいと思います。また、中
国に暮らす我々が地域に何か貢献できないかという観点から、社会奉仕活動について積
極的に実施してまいりたいと思います。

生活文化会のメンバーも大幅に入れ替わり、心機一転、頑張っていく所存です。今年度も
皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

主な活動内容

- ①青島日本人会運動会・納涼祭り・新年会の企画実行
- ②青島総領事館、JETROと連携し、青島ジャパンディの開催
- ③社会貢献活動の積極的な開催
- ④特別講演会の企画開催
- ⑤ちんたお文庫運営に対する支援
- ⑥各同好会・婦人会への活動支援
- ⑦「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信
- ⑧ 青島の文化・歴史についての調査、研究支援

(4)青島日本人学校運営理事会

理事長 藤井 伸明
副理事長 廣瀬 俊

青島日本人学校は、青島日本人会が設立した、将来を担う児童、生徒と、その成長を全力でサポートする教職員が集う素晴らしい学校です。

新年度は引き続き登喜龍一郎校長の下、「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」という教育目標の実現に向け、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、魅力ある学校作りを進めてまいります。

また、今年度も、青島日本人学校運営理事会は、本校教職員共々、青島日本人会の活動にも積極的に参加させて頂き、皆様との一体感を醸成させていただく所存です。

残念ながら近年全体としての駐在員の減少もあり、児童、生徒数も減少しておりますが、この魅力ある、素晴らしい学校を継続運営して行くことが、今年度の学校運営理事会の最優先事項と考えて進めて参ります。

引き続き、日本国政府、地元政府への継続的支援要請、宣伝活動を行うと同時に、会員企業の皆様をお願いしております青島日本人学校に対する任意寄付金につきましても、受付を継続してまいります。また更なる改善策の検討も進めて行く所存です。

運営理事会一同、精一杯努力して参りますので、会員企業、個人の皆様、皆様のご理解、ご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

第6号議案

2016年度予算案

(2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	439,323	1. 事務局費	276,300
		2. 商工会活動費	72,000
		全体会	40,000
2. 2016年度会費収入	740,000	部会	20,000
法人会員(350社*2100元)	735,000	地区分科会	12,000
個人会員(25人*200元)	5,000	3. 生活文化関連費	115,000
3. 臨時会費収入	120,000	婦人会	5,000
・総会懇親会会費	35,000	ちんたお文庫	42,000
・新年会会費	85,000	運動会	2,000
		月刊青島	18,000
4. 銀行利子	4,300	歴史保存会	2,000
		納涼会	20,000
		公認同好会支援	25,000
		社会奉仕	1,000
		4. 会議費	120,000
5. その他(寄付など)	0	総会	35,000
		新年会	85,000
		5. 日本人学校支援費	250,000
		6. ジャパンデー関連行事	30,000
		7. 情報整理(H. P改修等)	1,000
		8. 特別講演会の開催	0
		9. 安全対策活動費	0
		10. 次年度繰越金	439,323
【合計】	1,303,623	【合計】	1,303,623